

表 上海市新エネ車産業発展加速化実施計画(2021～2025年)の主な目標など

項目	内容
一 発展目標	
産業規模が国内トップクラス	上海市における新エネ車生産能力を120万台以上、新エネ車の生産額は3,500億元を突破、新エネ車の生産額の自動車生産額全体に占める割合を35%以上とする。
革新技術の重大な突破	燃料電池と管理システム、それに関連するコア部品の研究開発製造で世界トップクラス。自動車用チップ、ステアリングシステム、スマート化技術などに関して、サプライチェーンを構築する。
グリーン交通エネルギー体系の実現	個人による自動車購入に占める電気自動車(EV)の割合を50%以上。バス、観光タクシー、党政府機関の公務車両、都市中心部のトラック、郵便車両は全面的に新エネ車を使用。国有企業の公務車両、環境衛生車両は新エネ車の比率を80%以上、ネット予約タクシーでは新エネ車比率を50%以上、大型トラック、建設作業車は新エネ車使用率を顕著に向上させる。FCVの導入台数は1万台を突破。
ネット化スマート化能力の向上	一定の条件のもと、自動運転のスマート自動車の規模化生産を実現、高度自動運転のスマート自動車については限られたシーンでの商業化応用を実施。スマート交通システムの建設を積極的に展開し、高精度測位システムによるカバーを実現。
基礎インフラ建設の改善	充電・電池交換技術レベルの大幅向上、スマート化、情報化運営システムを基本的に構築。充電・電池交換施設の規模と運営の質、サービスを向上。水素ステーションは70カ所以上で使用開始し、重点応用地域をカバーする。
政策体系を継続的に改善	新エネ車応用、水素ステーション、充電・電池交換関係の標準と管理体系を基本的に構築。スマート自動車のモデル応用、商業運営関連の標準システム建設で大きな進展を得る。
二 重点分野	
主導型企业発展を支持	上海汽車集団の新エネ車の発展を支持。2025年までに自主ブランド車の販売額に占める新エネ車の販売額の割合は30%以上、集団としての販売額に占める新エネ車の販売額の割合は20%以上。
個人使用の新エネ車政策の改善	新エネ車専用のナンバープレートの政策を改善するとして、2023年以降、プラグインハイブリッド自動車(PHV)に関しては、専用のナンバープレートを発給しない。
公共領域の車両を全面電動化	トラックの稼働割り当て、都市部の管理システムを改善し、BEVおよびFCVのトラックについては都市部の通行を徐々に緩和。
FCVのモデル応用も積極的に拡大	条件が整った地区でバス、大型トラック、冷凍輸送、環境衛生、オフロード領域でのモデル応用を支持。空港、港湾、鉄道分野における実際にモデル応用を実施。バス運営企業の負担を増加させない前提のもと、FCVバスのモデル応用を積極的に推進。少なくとも50台を導入。

(出所) 上海市政府の発表を基にジェトロ作成